

中 部 森 林 研 究

第47号

平 成 11 年 2 月

1999

日 本 林 学 会 中 部 支 部

目 次

◎：論文，○：報文，＊：講演のみ

》 造 林 《

- ◎ 林内日射量の鉛直分布の実態把握…………… 1
金澤昭典・服部重昭・朴 昊澤（名大農）・井上 淳（東大愛演）
- * 苗場山ブナ林床の分光特性
尾高尚子・山口恵里佳・角張嘉孝（静岡大農）
- ◎ 落葉広葉樹上層木の開葉にともなう林床の光量子束密度の変化…………… 5
原 宙市・加藤正吾・川村 毅・鶴飼奈美・奥山千晶・小見山章（岐阜大農）
- * 落葉広葉樹当年生稚樹のサイズ
増田英俊・松下敏則・小見山章（岐阜大農）
- * 荘川村六厩の落葉広葉樹林における樹冠発達過程
川村 毅・加藤正吾（岐阜大農）・寺西美樹（静岡県職員）・小見山章（岐阜大農）
- * 異なる光環境下で生育したブナ林床樹木の生理特性の違い
山口恵里佳・尾高尚子・韓 慶民・角張嘉孝（静岡大農）
- * 赤沢ヒノキ老齡林の林分構造
—大面積プロットデータによる解析—
星野大介・山本進一（名大農）
- * 90年生のヒノキ・ケヤキ人工林の林分構造
横井秀一（岐阜県森林研）
- 高齡ヒノキ一斉林における間伐効果の一例…………… 7
安達亮介・川崎圭造（信州大農）
- ◎ 長伐期施業によるヒノキ林間伐後の林内環境の変化（I）…………… 9
—強間伐による表層土壌への影響—
辻野新子・川崎圭造（信州大農）
- 間伐後のカラマツ林への更新した広葉樹の処理（II）…………… 13
—林床の光条件と稚樹発生状況—
西田昌代・川崎圭造（信州大農）
- * 亜高山帯林におけるササの有無が倒木の存在状態と実生に与える影響
生川淑子・山本進一（名大農）
- * 北八ヶ岳亜高山帯林における林冠状態の違いが稚樹バンクに与える影響
加藤京子・山本進一（名大農）

- * ブナ林の発達にともなうギャップ特性と主要構成樹種の置換パターンの変化
山本進一 (名大農)・西村尚之 (岡大大学院自然科学)
- * 原生照葉樹林の林冠動態とそれに対する構成樹種の更新反応
三浦真弘・山本進一 (名大農)
- ◎ 里山におけるホンドタヌキの種子散布行動…………… 15
—津市神戸の事例—
角谷知彦・武田明正 (三重大生物資源)
- ◎ 不織布サックを用いたヒノキ2年生ポット苗の育成…………… 19
山本徳子 (静岡県林技セ)
- * マングローブの増殖法
大西卓宏・小見山章・福井博一 (岐阜大農)
- ◎ 組織培養によるオオヤマザクラの大量増殖…………… 21
中島美幸・茂木靖和 (岐阜県森林研)
- * ユーカリ属植物の発根方法の改良
近藤啓子・松原知永・土肥敬悟・河津 哲 (王子製紙森林資源研)
- ◎ 山地から選抜したウドの諸特性に関する研究 (IV) …… 23
—軟化栽培した場合の特性—
今井三千穂 (福井総合グセ)
- ◎ アテ高齢木からのさし木について (II) …… 25
—採穂位置のちがいによる発根—
中野徹夫 (石川県林試)
- ◎ ブナの水分特性…………… 29
松尾 純・川崎圭造 (信州大農)
- ◎ カエデ属の蒸散特性…………… 31
宮島由美子・川崎圭造 (信州大農)
- * 暖温帯の二次林主要常緑広葉樹種の冬季の葉の水分特性
原山尚徳・山本進一 (名大農)
- * 稚樹の根系と地上部の成長および水消費の関係 (I)
—異なる土壌でのカラマツ稚樹の成長—
原田光恵・川崎圭造 (信州大農)
- * 稚樹の根系と地上部の成長および水消費の関係 (II)
—カラマツ・コナラ・ブナ稚樹の成長—
川崎圭造・原田光恵 (信州大農)
- * Granier 法による樹液流量の測定について
久保田光政 (静岡大農)・R. Zimmermann・J. D Tenhunen (バイロイト大)・角張嘉孝 (静岡大農)

◎ <i>Acacia mangium</i> 造林候補地における林地生産力調査について (I)	33
— 既存造林地における成長量調査と地位の決定 —	
豊田貴樹・西澤啓次 (社) 海外林業コンサルタント協会)・小野 裕 (信州大農)	
◎ ミズメ実生苗の生産構造に及ぼす床替え密度の影響	37
近藤 晃 (静岡県研究調整室)	
◎ 若齢ミズメ人工林の成長と現存量	41
小山泰弘 (長野県林総セ)	
* 異なる海拔高におけるブナ, カンバの樹皮呼吸速度について	
尾崎友昭・久保田光政 (静岡大農)・D. Gansert・K. Backes (Duesseldorf 大)・角張嘉孝 (静岡大農)	

》 立地/環境保全 《

◎ 中部地方太平洋側の植生史	45
— 静岡県磐田市鶴ヶ池の花粉分析から —	
馬淵 亮 (信州大農)・渡邊仁志 (岐阜県林政課)・中堀謙二 (信州大農)	
◎ 静岡県磐田地域の植生と土地利用に関する史的研究 (I)	49
— 磐田市・鶴ヶ池における花粉分析から —	
渡邊仁志 (岐阜県林政課)・中堀謙二 (信州大農)	
* 霧ヶ峰の草原化 (III)	
— ジャコッパラ小湿原の花粉分析から —	
中堀謙二 (信州大農)	
◎ 森林土壌溶液と渓流水の水質決定機構について (I)	53
— 信州大学附属手良沢演習林 棚沢川の場合 —	
鳥澤園子・川崎圭造 (信州大農)	
* 森林内における降水の水質変化	
市橋弘美 (岐阜大農)・加藤泰子 (中部復建)・戸松 修・木村正信 (岐阜大農)	
◎ 河畔域からのリター供給とその分解過程	55
金指 努・服部重昭 (名大農)	
* 落葉広葉樹樹幹流の樹種特性	
竹中千里・鈴木道代・山口法雄・今泉保次 (名大農)	
◎ 炭酸カルシウムや PVPi を添加した DMSO によるクロロフィル抽出	59
大畑哲也・竹中千里 (名大農)	
◎ 亜高山地帯における酸性雨の影響に関する研究 (IV)	61
— 樹幹流の pH, EC と溶存成分の樹種特性について —	
酒井寿夫・森澤 猛 (森林総研木曾)	
◎ 安倍川におけるコゴメヤナギ群落の構造と遷移について	65
小池吉徳・土屋 智・逢坂興宏 (静岡大農)	

○ トヨタ・フォレストヒルズにおけるシデコブシ保全試験	69
河口順子 (プレック研究所)・伊藤俊哉・小松康彦 (トヨタ自動車)・只木良也 (プレック研究所)	
* クスノキ苗の被陰条件下における成長と葉の形態的变化	
池田裕行・村瀬一隆・辻 和明・辻 良子・渡邊良広・松下範久 (東大樹芸研)・井出雄二 (東大千葉演)	
◎ 落葉広葉樹林内に樹下植栽された7樹種の成長特性	73
小谷二郎・矢田 豊 (石川県林試)	
◎ ミズキの葉の展開と枝の肥大成長の季節的対応関係	75
小谷二郎 (石川県林試)・南部春美・上田哲行 (石川県農短大)	
◎ スギの凍裂について (III)	77
—凍裂木の発生と土壌状態について—	
茂木靖和・大洞智宏 (岐阜県森林研)・川尻秀樹 (岐阜県林短)	

》 保 護 《

* 里山の宅地開発は住家性コウモリの分布拡大をもたらすか?	
佐野 明 (三重県林技セ)	
◎ ニホンザルによる針葉樹造林木の剥皮被害について (III)	79
—ヒノキ立木の地際樹幹剥皮被害, および剥皮が木質部に与える影響—	
岡田充弘 (長野県林総セ)	
* テレメトリー法によって調査した大台ヶ原のニホンジカの行動圏	
前地育代・横山昌太郎 (名大農)・黒崎敏文 (自然研)・柴田勲弼 (名大農)	
◎ シカ, カモシカの胃内容物と食害木の回復措置	81
藤下章男・大場孝裕 (静岡県林技セ)・鳥居春己 (奈良教大)・高槻成紀 (東大博)	
◎ マツアナアキゾウムシによるヒノキ植栽木の被害解析と2年目の被害経過	83
加藤 徹 (静岡県林技セ)	
◎ 二次林におけるタマバチのゴールから脱出した寄生・寄居蜂	85
伊藤正仁・肘井直樹 (名大農)	
◎ スギの間伐時期によるニホンキバチの生存率の違い	89
福田秀志 (名大農)	
◎ アベマキおよびコナラの堅果に対する昆虫類の加害様式 (V)	93
—主要種の羽化脱出消長—	
福本浩士・梶村 恒 (名大農)	
◎ 温度条件がクシダネマ <i>Steinernema kushidai</i> の殺虫性に及ぼす影響	97
大橋章博 (岐阜県森林研)	
◎ 愛知県内でみられたマンサクの枯死について	99
吉田和広・小林元男 (愛知県林セ)	

○ 山地小流域における流出特性の研究 (II) 123	
—電気探査を用いた地盤の比抵抗測定—	原田晋太郎・宮崎敏孝・小野 裕 (信州大農)
◎ 1998年1月15日に上松営林署管内で起きた雪氷害の発生機構について 127	森澤 猛 (森林総研木曾)
◎ 立木の枝葉に付着した雨水重量について 131	
—1998年4月の事例から—	古川 仁・片倉正行・近藤道治・岡田充弘・小山泰弘・島山竜哉 (長野県林総セ)
* 治山ダム類の安全設計のための構造材料の破壊力学的研究 (I) 133	
—各種セメント硬化体の破壊靱性に係る比較検討—	陶山正憲 (静岡大農)
◎ 森林景観に配慮した治山ダムの表面処理 133	
—シミュレーション画像による評価—	井川原弘一 (岐阜県森林研)
* 岐阜県下における地震による土砂災害について	戸松 修・木村正信 (岐阜大農)・中野有美 (太陽建設コンサルタント)

》 経営 / 林政 《

* 2 km 四方メッシュ土地利用データに基づく森林の類型区分 137	
—三重県宮川流域を対象とした試み—	石崎 学・川田伸治・彭 道黎 (三重大生物資源)・吉田剛司・田中和博 (京都府大農)
* 材積成長予測モデルの調整	林 隆男・梅村武夫・山本一清 (名大農)
◎ 静岡県スギ・ヒノキ人工林の幹形に関する若干の考察 137	小脇博和・野上啓一郎 (静岡大農)
◎ ヒノキ人工林の景観評価基準に関する考察 (I) 139	
—AHP法の応用—	廖 為明・竹内 亮・野上啓一郎 (静岡大農)
◎ 立木樹幹形の3次元表示 (I) 141	
—トータルステーションを利用した測定方法—	大場孝裕 (静岡県林技セ)
◎ 立木樹幹形の3次元表示 (II) 143	
—写真を利用した測定方法—	大場孝裕 (静岡県林技セ)
◎ ツキノワグマの生態と森林経営に関する研究 (I) 145	
—中央アルプス北部におけるツキノワグマの生態特性—	本田耕一・植木達人・吉田利男 (信州大農)

◎ ツキノワグマの生態と森林経営に関する研究 (II)	149
—長野県伊那谷における森林被害の歴史的経緯と現状—	
	本田耕一・植木達人 (信州大農)
◎ クマ剥皮木の分布に関する研究	153
—剥皮率を用いた数量化 I 類—	
	吉田 洋・林 進・堀内みどり (岐阜大農)・羽澄俊裕 (野生動物保護管理事務所)
◎ カラマツ優良大径材生産の展望と課題	157
—長野県上伊那郡長谷村私有林を事例として—	
	金井賢介 (信州大農)・保科孫恵 (林業家)・魚住侑司・植木達人 (信州大農)
◎ 天然大径材の持続的生産に関する研究 (I)	161
—ヒノキ・ミズナラ林の林分構造—	
	伊藤栄一・青木達雄・永島義治・谷口 昇・内木勝夫 (岐阜大農)
◎ カンボジアにおけるマングローブ林の現状と課題	163
—コーコン州を事例として—	
	Nophea Kimi Phat・魚住侑司・植木達人 (信州大農)
◎ Effects of forest recreations in the treatment of mental disabilities	167
(精神発達障害者の療育活動としての森林レクリエーションの効果)	
	上原 巖 (信州大農)・佐々木康成・山田千穂 (親愛の里松川)
◎ 都市林整備の社会システム形成	171
—市民参加のシステムプランニング—	
	犬塚智子・林 進 (岐阜大農)
○ 間伐材の有効利用を目指した一試案	175
—立木染色の利用と応用—	
	古畑直人・湯川晃伸・首藤正典・中黒あけみ・堅道裕佳・伊藤絵美・堅道智昭 (木曾山林高校林業科)

》 利 用 《

* 民有林林内路網計画に関する研究 (III)	
—利用区域内森林所有者数の実態—	
	松本 武・北川勝弘 (名大農)
◎ 林道開設に伴うつぶれ地の規模について	177
	板谷明美・山崎忠久 (三重大生物資源)
* 集材架線に発生する搬器荷重の上下動による張力変動の周波数特性	
	近藤 稔・松本 武・北川勝弘・森岡 昇 (名大農)
○ 高性能林業機械の導入と素材生産量および新規労働者定着率に関する考察	179
	松村哲也 (岐大連農・信州大農)・小池正雄・井上 裕・林 博道 (信州大農)

◎ 高性能林業機械の導入効果について	181
	真木俊輔・飛岡次郎 (三重大生物資源)
◎ ヘリコプターによる間伐材の搬出とその利用	183
——企業にみられた資源活用と経費削減の工夫——	
	池戸秀隆 (岐阜林短大)
◎ エリンギの立ち枯れと発生室の消毒の有無及び拡大培養回数との関係	185
	澤 章三 (愛知県林セ)・手嶋洋二 (岡崎市農業バイオセンター)
◎ エリンギ廃菌床の作土への添加がニンジンに及ぼす影響	187
——添加方法, 添加率, および栽培時期による影響の違い——	
	石田 朗・澤 章三・白頭勲明 (愛知県林セ)
◎ ハタケシメジ (<i>Lyophyllum decastes</i>) の人工栽培に関する試験	189
——培養期間と子実体発生量の関係——	
	西井孝文 (三重県林技セ)
◎ ムラサキシメジの野外栽培について	191
	武藤治彦 (静岡県林技セ)
◎ きのこの菌床栽培におけるモミガラ・トウモロコシ芯加工物の利用に関する試験	193
	竹内嘉江 (長野県林総セ)
◎ 原木シイタケ栽培におけるほだ化, 子実体発生に関する試験	195
	竹内嘉江 (長野県林総セ)